

「ゲーム依存症対策関係者連絡会議」について

1. 趣旨

近年、ゲームに過度にのめりこむことにより、日常生活や社会生活に著しい悪影響を及ぼすゲーム依存症が問題となっている。このような中、令和元年5月には、WHO(世界保健機関)においても、ゲーム障害が、精神疾患の一つとして位置づけられたところである。

このため、関係省庁及び関係機関等で構成される「ゲーム依存症関係者連絡会議」(以下「連絡会議」という。)」を開催し、ゲーム依存症の認識を高めるとともに、課題や対策等を共有し、ゲーム依存症対策の推進を図ることとする。

2. 構成員

別紙のとおり。

3. 主な協議事項

連絡会議においては、主に次の事項を協議する。

- ゲーム依存症の現状、実態
- 関係省庁及び関係機関における取組の現状、課題
- 関係省庁及び関係機関における今後の対策

関係省庁等における取組等については、定期的にフォローアップを行う。

4. 事務局

連絡会議の事務局は厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課が行う。

「ゲーム依存症対策関係者連絡会議」構成員

(行政機関)

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課
厚生労働省子ども家庭局子育て支援課
厚生労働省子ども家庭局母子保健課
内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付青少年環境整備担当
消費者庁消費者政策課
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課

(関係団体)

依存症対策全国センター(国立病院機構久里浜医療センター)
センター長 樋口 進
公益社団法人日本医師会常任理事 江澤 和彦
公益社団法人日本小児科医会理事 内海 裕美
公益社団法人日本精神科病院協会副会長 堀井 茂男
公益社団法人日本精神神経科診療所協会 海老澤 佐知江
全国精神保健福祉センター長会常任理事 白川 教人
ゲーム関連業界団体

※一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会、一般社団法人日本オンラインゲーム協会、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム、一般社団法人日本eスポーツ連合
特定非営利活動法人アスク代表 今成 知美